

船橋学園東葉高等学校への出前講座に係る委員会で出された意見

分類	検討事項等	詳細（主な発言内容）
議員	質問に対応するための議員自身の知識の向上（船橋政経懇話会、日本共産党）	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん勉強して行かないと、結構鋭く突っ込んでくる印象を受けたので、そのあたりが今後の課題ではないか。 ・これまでの議会について自分なりに分析したり勉強してから臨む必要があった。
	派遣委員の構成（男女比・年齢比・期数）（船橋政経懇話会）	<ul style="list-style-type: none"> ・男女比、年齢比、期数とかも考慮しないと、鋭い質問がきた場合に質問に応じるのが、委員だけだと難しくなってくると思う。
内容	プログラム・パワーポイント・説明内容等のリニューアル（学校の教育課程の進捗やニーズ、高校生（参加者）に合わせた内容、陳情の説明内容）（市民民主連合、公明党、船橋政経懇話会、飛翔、日本共産党）	<ul style="list-style-type: none"> ・議会見学会のプログラムなのでよかったと思うが、もう少し高校生だと深く内容を伝えてもよかった。 ・参加者に合わせたプログラムづくりのようなものを考えていかないと、おそらく面白みを持っていただけない。 ・生徒会長は市長、クラスの代表は議員というような形で、生徒会と議会を比べて説明するようにしてはどうか。 ・公園がすぐに実現する説明なので、陳情が簡単でもないという例も加えたほうがよい。内容的には精査すべき点がいろいろある。
	規模（人数等）（公明党、飛翔）	<ul style="list-style-type: none"> ・距離が近く、初めは緊張感があったが、やりとりをする中で雰囲気はよくなって活発な質疑があった。 ・生徒30名ぐらいで、あれぐらいの教室でやるとお互いが近くて、質問もしやすい雰囲気だった。
	質疑応答時間の拡大（市民民主連合、架け橋）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問の時間がもう少しあれば。やっと温まってきたところで時間切れになった。
	参加学年の偏り（市政会）	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生が2人しかいない。もう少し参加者が多くてもよかったのではないか。
今後について	他の高校の希望を調査（船橋政経懇話会、飛翔）	<ul style="list-style-type: none"> ・協力していただける高校があると次回もやりやすい。 ・今後も継続して、他の高校にも希望があるかどうかというのを問いかけて継続していったらよいのではないか。
	広報委員会としての継続的な活動（公明党）	<ul style="list-style-type: none"> ・議会をより身近に感じてもらったり、さらに信頼してもらうために、このアプローチを続けることが大事。その輪を広げるためにも、今後、出前講座を広報委員会の活動の柱にしていけたらよいのではないか。